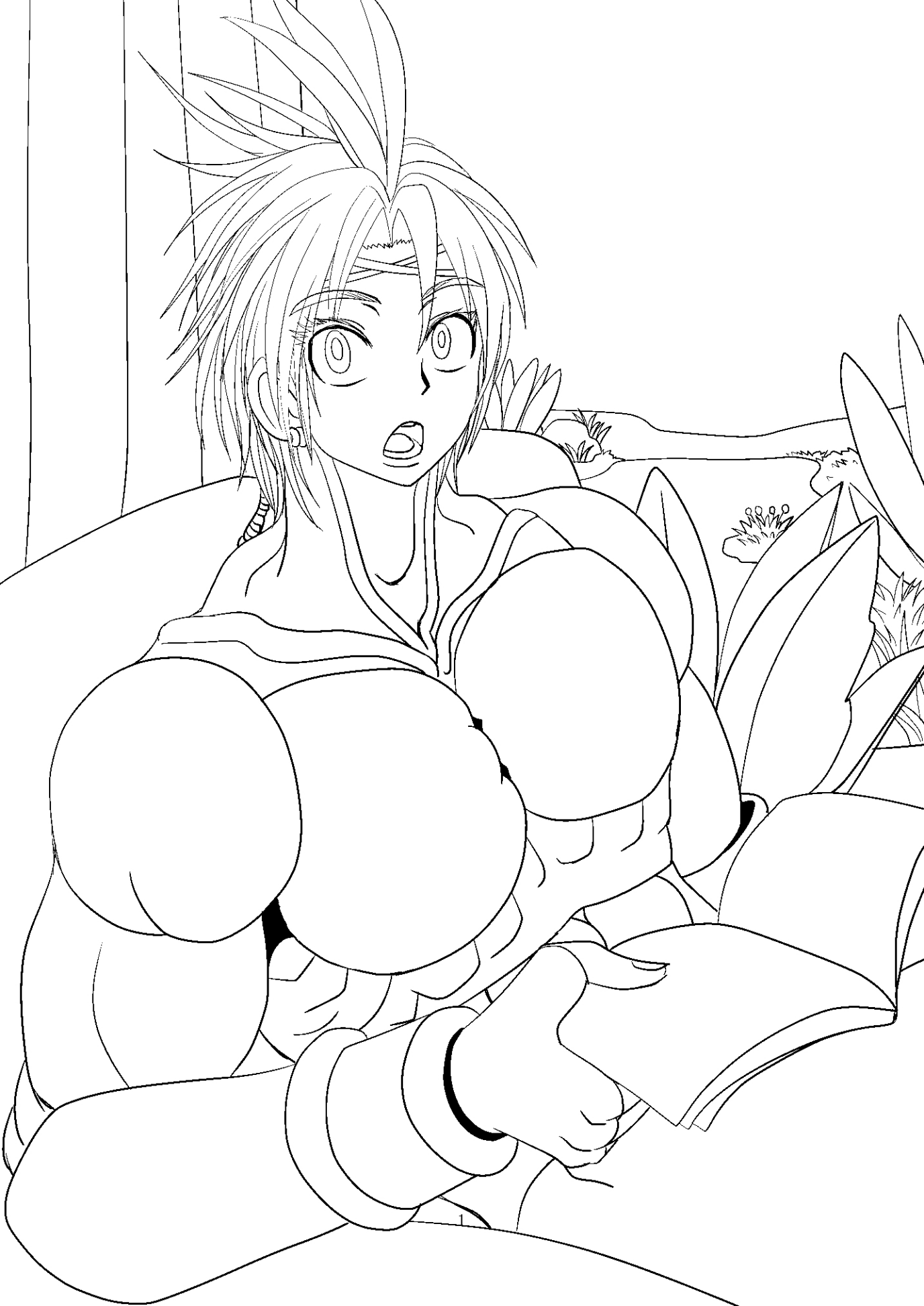






くっそー！
楽しいバカンス
のはずが…

や、やめろお！
やめてくれえ！

సూర్య

何でこんな事に！

泣き叫んでも無駄だ
外には聴こえないように
術をかけておいた

助けは来ない
おとなしく
それを受け入れろ

ニュル
ニュル

あ
が

うあああ！
ひんやりしてんのが
は、入ってるっ！

うお：
あああ

俺の尻の中に
入ってるぅっ!?



ふふ…
準備は整ったな
たっぷり注ぎ込んでやれ

あああ…

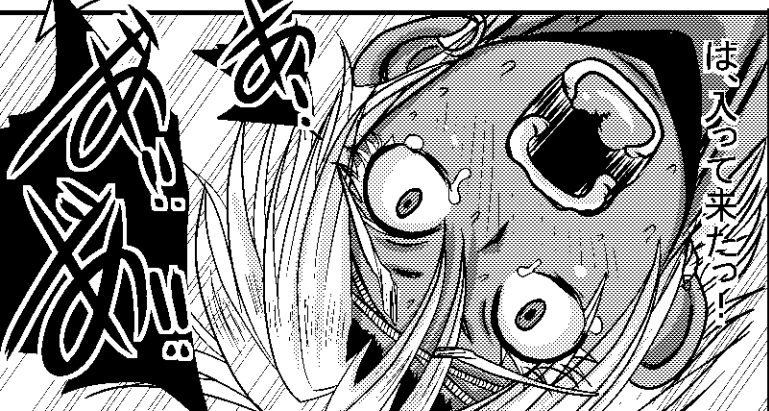
うあ

な何だコレ！ スケール変な感じ…
力が入らない

うう…
やめてくれえ

触手入れられただけで
このザマなのに注がれたら
どーなっちゃうんだよ…

感謝しろ
これが終われば
新しいお前に生まれ変わる
事が出来るんだからな…



は、入って来たぞ！

おっと
入れすぎて
しまったか…

頼む詩をくれ



く、苦しい…
い、息が出来ねえ…

腹壊れ
破れ

余計な分は
吸い出して
やってくれ

うおおおおお！
吸われてるうううう
腸がべちゃんこに
なってるうううう

うむ…
ご苦労

あ

あ

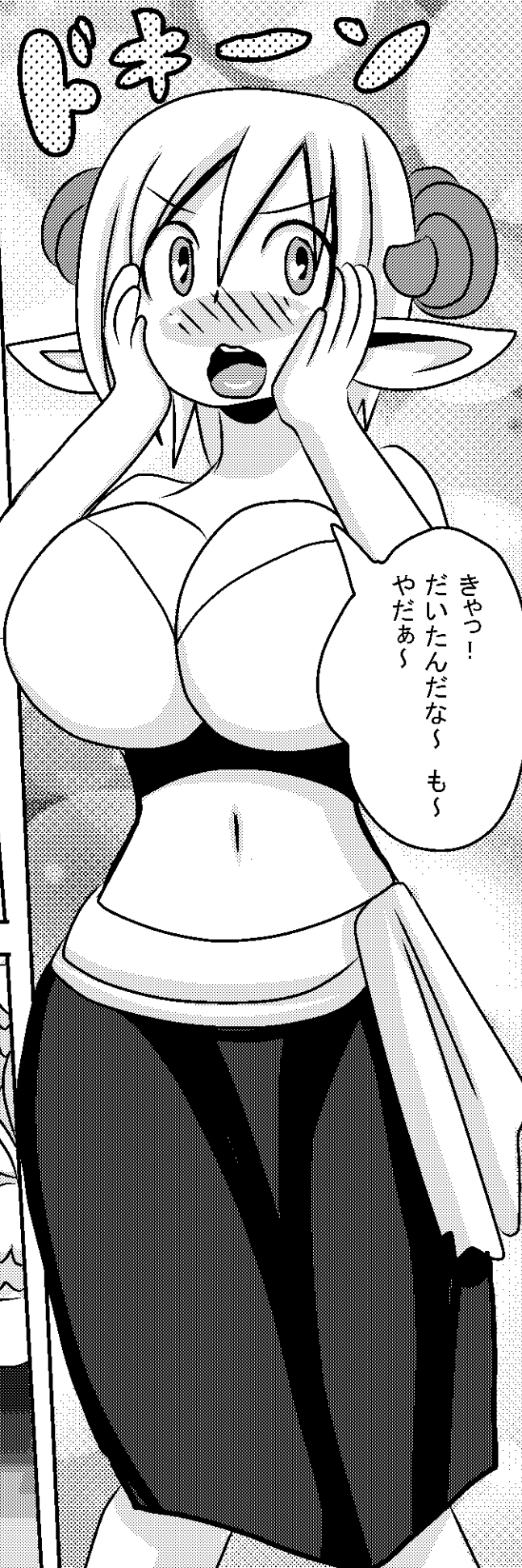
あ

悪いな
変な事頼んで…

え？勇者の腸液
うまかったから
良いって？
それは何よりだ







きやつ!
だいたんだなゝもゝ
やだあゝ



ん？何だ？
黙ってては
わからんぞ



※ディーブスボーンさんは
心を読めるんだよ！



あゝ
礼は
改めて

うおおお！
俺のへたれ！
根性なし！
あああでも
脈絡ねーし
触手さんいたし！

ぞは
あゝ
この辺ぞ...

いやー
地上は
あつハハー
1441...



な、何でも
無いっす！

そか
あゝ
うん

じゅううう...

いやー
うぶだねゝ



脱童貞に気合十分の勇者君ですが今回は残念ながらタイムアップ
気になる童貞の行方はまた次の機会に！

次ページより3種の敗北をお楽しみくださいませませ〜！！



うわあああああ！
ま、まぶしい！
な、何でこんな？

「うわあああああ！ま、まぶしい！」
変態魔族に標的として狙われた勇者君！
畏れのかかり魔法の光を浴びてしまったぞ！

「うっしっ！うま回ったぞー」
変態魔族は生きた人間をついた可憐の
コレクターだったのです。
それも恥ずかしい姿の可憐のー

(おおーう、動けねえーか？)
何故か股間の所だけ石化を免れた事に
勇者君は気がつきました。
(な、何をする気なんだ？)

カ
ハ
チ
と
ビ

ズ
ッ

魔族はおもむろに勇者君の股間周りの
生地を破き性器を露出させました。

(…！？)

「ふふふ…お前は不機に射精した瞬間に
精液ごと完全な石像になるのだ」

(お、なんだって！？)



《ぐあああ！ あっ！ ーぐっ！ うあああ！ やめっーあああ！》
魔族の召還した舌状の触手に童貞ちゃんぽを責められ
苦しむ勇者君！ ガマン汁が鈴口から垂れて来ています。
『ほらほら、頑張らないと石化しちゃうよ？ ハハハ』
《くそおーこ、こんな責めなんかに負けるかよーうあっ》
射精しないように頑張る勇者君ですが
舌触手の責めは容赦なく続き
《あ！ あ！ ひううう！ あっ！ あっ！ うおおお！》
《ぐあああ！ 玉はちめえ！ ゆるひでくりえええ！》
その時は来てしまいました



(うあああああああ！出るっ！出るっ！)
(うっ！！！！)
打ち上げられた大量の精液！
(…だ、出しちまっ…)
ビギッ
勇者君には射精の余韻に浸る時間も
後悔する時間も与えられませんでした。



「ぐっふっふーこれは良い出来だぞー」
こうして不運なかつこのまま完全に石化し、勇者君は
変態魔族のコレクションにされてしまいました。

おしまい



この植物は近づいた動物に
寄生し操り繁殖に向いた場所へ
移動する不思議な植物だ!!

良い環境に辿り着くと
宿主の養分を使い体内で猛繁殖。
用済みになった宿主を殺してしまうんだ。

しかしかなり条件を高望みするので
目的の場所に巡り合うまで
結構な時間を要する事が多いらしいぞ。

寄生している時は
操るので精一杯で隙だらけなので
簡単に取り除く事ができるよ。

ふしぎないきものだね!

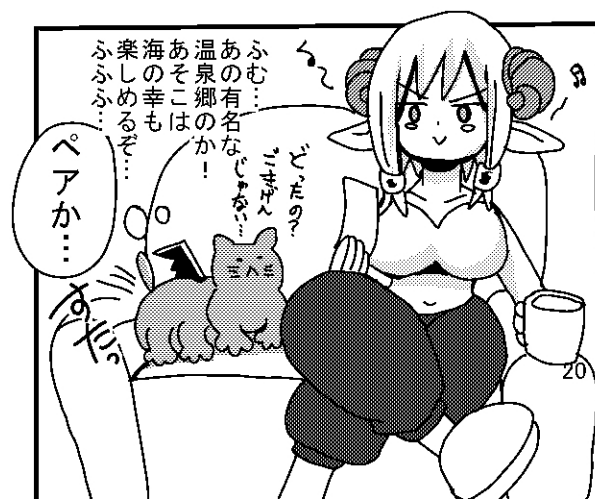
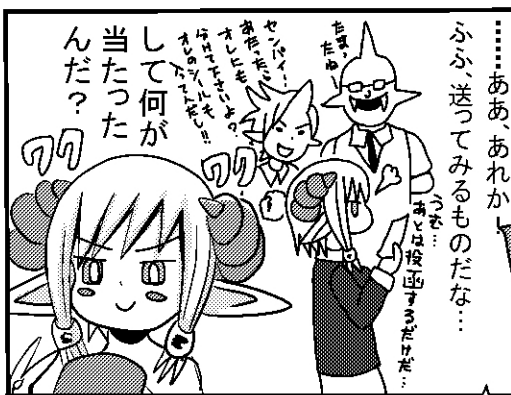
大変スムーズな
乗っ取り! お見事!

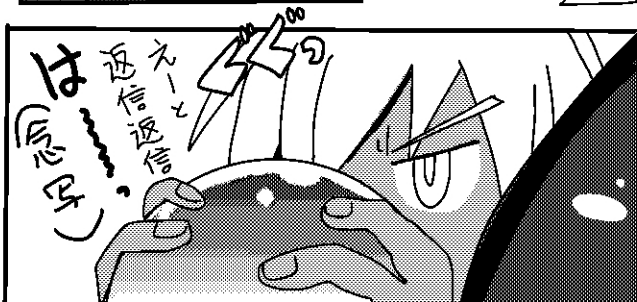
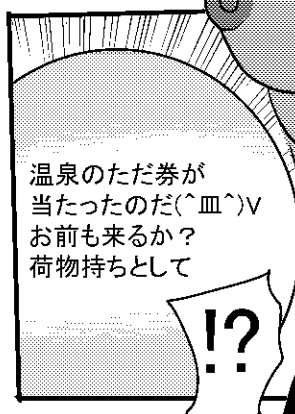
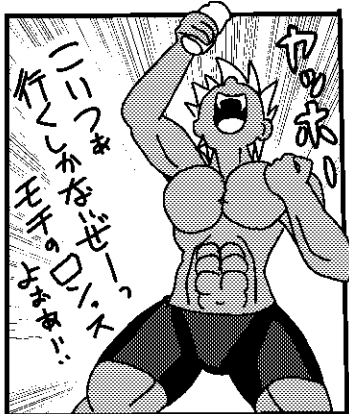
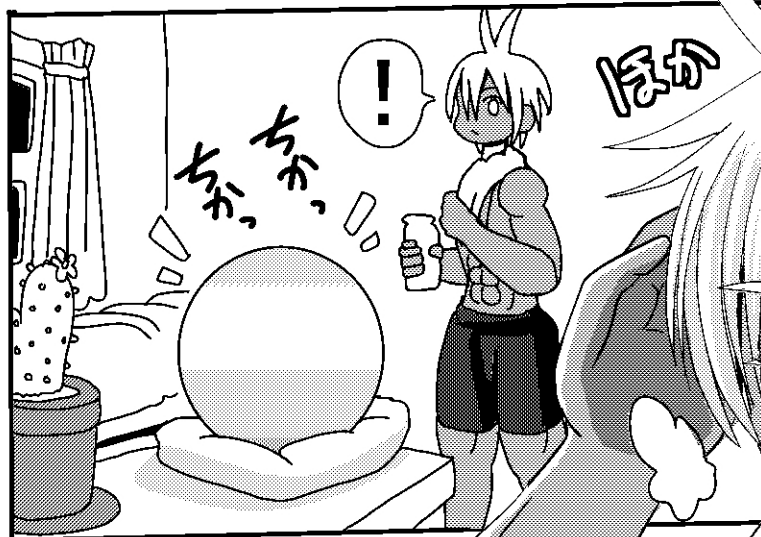


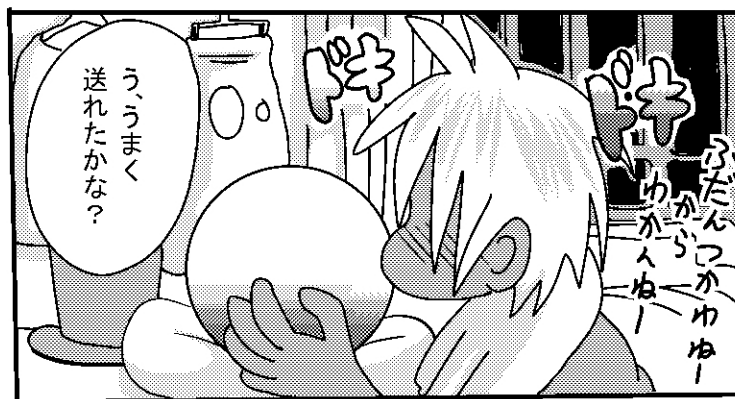
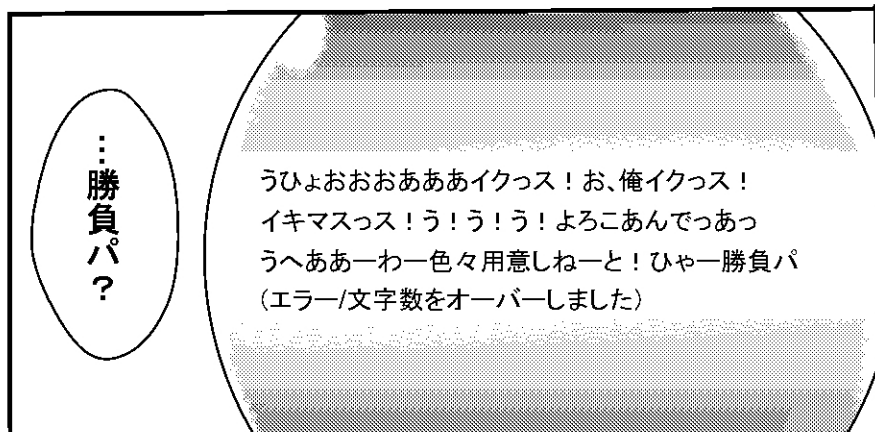
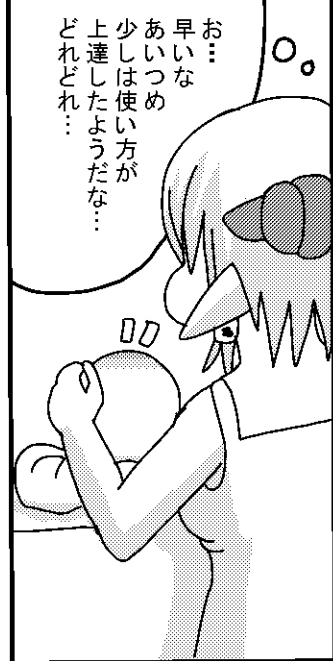
森の奥深くで勇者君は
邪悪な樹木の魔物に同化吸収
されつつあった！

反応を楽しむ為には頭部は最後まで
同化させないようにしていたが、
もう意識は朦朧としていて目も見えなく
なっているようだ！

勇者君の体内のエナジーを濃縮した
果実は魔族の間で高値で取引される。







本日のリア充＋3種の敗北

発行/アクオチスキー教室(アクオチスキー先生)

発行日/2013/06/30

PIXIVID/アクオチスキー先生

mail/akuochisukii@yahoo.co.jp